

結いだより

「いい会社」訪問記

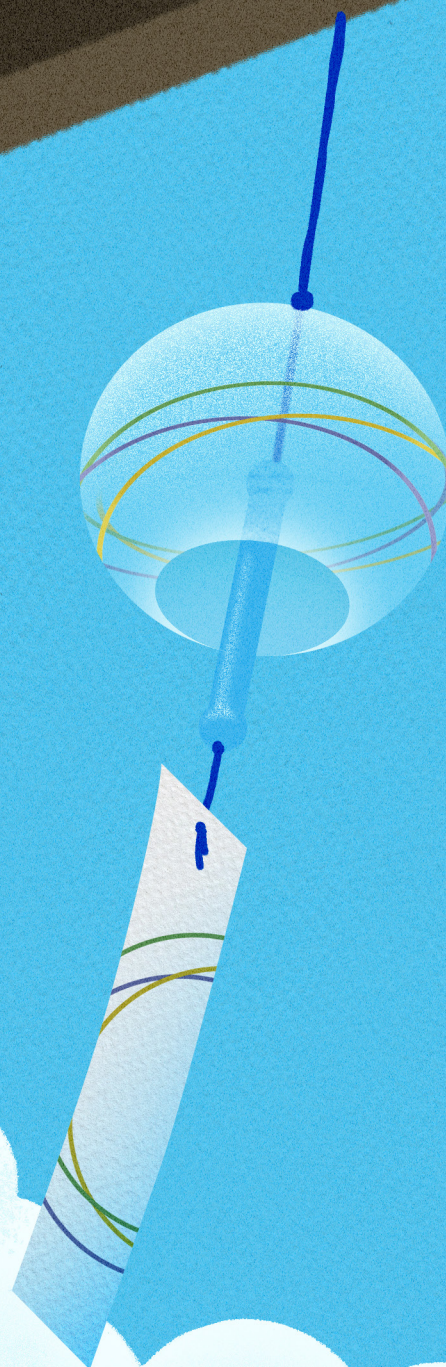
技術と人が支える モノづくりの現場

(堀場製作所/平田機工)

動画掲載のお知らせ

(運用報告会2025年春、「いい会社」の経営者講演)

「結い 2101」受益者総会®のご案内
今年のテーマ



※P8の注意事項を必ずご確認ください。

技術と人が支えるモノづくりの現場（堀場製作所/平田機工）

2024年11月、熊本県にある堀場製作所グループの堀場エステックの阿蘇工場と、平田機工の七城工場・熊本東工場にお邪魔しました。モノづくりの現場を見ることで、技術力の高さはもちろんのこと、それを支える「人」の想いや存在の大きさに強く心を打たれました。今回はモノづくりの現場で感じたことを、記事にしてお届けします。



筆者紹介

野田 圭祐 資産運用部 ファンドマネージャー

信託銀行で個人資産コンサルティング業務や、日系運用会社で債券のファンドマネージャーとして資産運用業務に携わる。2022年6月に鎌倉投信に入社。東京生まれ、埼玉育ち。

最先端の半導体製造を支える堀場エステックの阿蘇工場



マスフローコントローラー

まず訪問した堀場エステックは、流体（ガス・液体）の質量流量計測技術・制御技術におけるトップランナーです。同社の主力製品であり、世界シェアトップの「マスフローコントローラー（MFC）」は、ガスや液体をセンサで検知し、わずか数cc（立方センチメートル）単位でデジタル制御する精密機器で、半導体製造工程の安定性や生産効率を大きく左右します。阿蘇工場の製造現場では、温度や圧力、流量といった微細な条件を安定して制御するための絶え間ない工夫がなされていました。一方、検査工程では、ピーカーに液体を注ぎ、時間と重量の変化から流量を検証するという非常にアナログな方法も残されており、半導体製造という最先端技術に関わる機器ですが、「正確さ」を追求するためにはデジタルだけではなく、アナログとの融合が不可欠であることを思い知りました。製造現場を見学して



阿蘇工場の外観

特に印象的だったのは、「どうすればヒューマンエラー（人間が原因となって発生するミスや事故）を減らせるか」「作業者にとってやりやすい動線とは何か」といった現場目線の工夫が随所に見られた点です。そこには人間の感覚と柔軟な対応力が重要であり、品質を守る最後の砦はやはり人間の手なのだ実感しました。



写真左：
地震発生時で停止した時計
右：復旧の記録

阿蘇工場は、2016年の熊本地震で大きな被害を受けましたが、その経験を糧に、より災害に強い工場へと再生しました。社員の方々が自発的に撮影・編集された記録映像には、避難する仲間を支え合い、翌朝には復旧に向けて動き出す姿が映されていました。混乱の中でも安全確保と復旧に向けて一丸となる様子に深く胸を打たれました。

広大なスケール感と現場力が光る平田機工の七城工場と熊本東工場

続いて訪れた平田機工では、七城工場と熊本東工場EV（電気自動車）向けの組立ライン設計が進行中でした。七城工場はもともと物流倉庫だった施設を工場として転用したもので、最長で600メートルと向こうの端が霞んで見えるほどの長大な生産ラインを1施設内で構築できるスケール感と、厳密な製造工程管理によってそれを構想・実現できる技術力にただただ驚かされました。組立ラインにおける新技術の導入にも積極的で、顧客の要望に応じるための工夫が



随所に見られ、同社の強みを実感しました。自社のACS（標準化設計）と顧客の個別ニーズへの対応を両立させるため、現場では設計部門と製造部門が密に連携し、目立たない部分にも精魂を込める様子を目にし、「神は細部に宿る」という言葉が重なりました。（写真左：物流施設の名残がある七城工場/右：熊本東工場の外観）

最後に

堀場製作所と平田機工の両社に共通していたのは、「派手さはないが、確かな技術とそれを支える人が信頼を積み重ねている」ということです。このような「いい会社」が日本の製造業の土台を支え、私たちの生活や未来の産業の基盤をつくっていると感じました。今回の訪問で感じた現場の空気感や社員の方々のまなざしは、「結い2101」で自信を持って両社の株式を持続けるうえで、大きな示唆を与えてくれるものでした。

株式会社
堀場製作所

投資テーマ「匠」
「はかる」を軸に
技術発展を支える、
いい会社



平田機工
株式会社

投資テーマ「共生」
世界中の生産ラインを
支え地域雇用を
大切に、いい会社



動画掲載のお知らせ

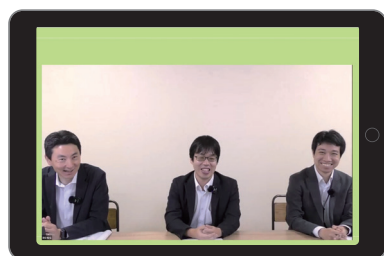
運用報告会2025年春、「いい会社」の経営者講演

2025年6月にオンライン開催した「結い2101」運用報告会と、5月～6月にかけて東京・大阪・福岡の各会場で開催した、「いい会社」の経営者講演の収録動画を掲載しました。この記事では、動画の内容をハイライトで紹介します。

掲載動画の紹介

1. 「結い2101」運用報告会 (2025年春 オンライン開催)

社長の鎌田による開会挨拶の後、資産運用部長の五十嵐から、投資哲学や運用基本理念といった「投資方針」について、あらためてご説明しました。続いて、「結い2101」のポートフォリオの特徴や、基準価額の変動率(リスク)、有価証券組入比率の推移などについても詳しくお話したほか、投資先企業の業績成長率とPBR(株価純資産倍率)の推移をもとに、「いい会社」が着実に成長していること、そして現在の株価が過去と比べて魅力的な水準にあることをお伝えしました。さらに、パフォーマンスやその背景となる市場環境、個別の投資先企業の影響についても解説しました。特に、事前に多くのご質問をいただいた「トランプ関税政策」の影響や、運用者として今後注目していくポイントについても触れました。



また、2025年5月8日発行の「結いだより」でご報告した目標リスク・リターンの見直しについて、その目的や背景、今後の運用への影響について、五十嵐と鎌田から説明しました。投資先企業の紹介パートでは、今回初めて「いい会社の今を話そう」というテーマで、司会の渡邊、ファンドマネージャーの野田と長田によるトークセッションを実施しました。新規投資先から日東精工と図研、既存投資先から三洋化成工業とTOTOを取り上げ、それぞれの企業の魅力について紹介しました。

2. 「いい会社」の経営者講演

投資先の経営者による講演と鎌倉投信の鎌田、五十嵐を交えたディスカッション、受益者とのQAセッションをご視聴いただけます。また、公式noteでもイベントの様子を発信しています。

note記事は
こちらから
ご覧いただけます



① 日東精工株式会社

代表取締役社長兼COO 荒賀 誠様

精密なネジ製造に特化した会社が地方都市である京都府綾部市に本社を置く理由や強み、地域の共同体として設立され、特定の創業者を持たない同社が、創業精神や経営理念を永く引き継いでいくための取組みなどについてお話をいただきました。



② 株式会社メンバーズ

代表取締役兼社長執行役員 高野 明彦様

同社が倒産の危機を乗り越え、いかに再生してきたのか、その過程で培われた経営理念や、高い専門スキルと熱意をもった若いデジタルクリエイターが活躍できる理由などについてお話をいただきました。



③ アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社

取締役副社長 中嶋 大祐様

大手・著名企業をおさえて、九州・沖縄地域で新卒就職人気3年連続トップになった同社が、若い人材を惹きつける理由や、ブライダル事業を通じてお客様や社員を幸せにする経営の実践などについてお話をいただきました。



その他にも、4月に開催したいい会社訪問®(物語コーポレーション)の店舗・本社ツアーと社長講演の動画も掲載中です。各動画は「[受益者専用サイト](#)」からご視聴ください。

「結い 2101」運用報告 資産形成

June 6月

2025年6月の日本株式市場

6月の日本株式市場は上昇しました。月前半は、中国のレアアース（希土類）輸出規制や米国による対中半導体規制などの緩和に向けた貿易協議の進展が期待された一方、イスラエルとイランの交戦による中東情勢の緊迫化や日米関税交渉の停滞などが重しとなり、一進一退の展開となりました。月後半は、米国がイランの核施設への攻撃に踏み切ったことで中東情勢を巡る緊張が高まる局面があったものの、イスラエルとイランの停戦合意の発表を受けて過度な懸念が後退したことや、米連邦準備制度理事会（FRB）による早期利下げ観測が支えとなり米国株式市場が上昇基調となったことを受け、日本株市場も月末にかけて上昇しました。TOPIX（東証株価指数）は前月末比で1.8%、TOPIX Small（小型株指数）は同3.1%それぞれ上昇しました。業種別では、その他製品、証券・商品先物取引業、機械などが上昇した一方、輸送用機器、海運業、ゴム製品などが下落しました。

2025年6月の「結い 2101」

「結い 2101」の6月末の基準価額は前月末比で1.8%上昇し、21,432円となりました。2025年6月期第3四半期決算が良好な内容であったものの、通期業績予想の上方修正が見送られたことが失望された「前田工織」や、原油価格の急騰に伴う原材料価格の上昇が懸念された「エフピコ」等が下落した一方、クラウド事業の好調な推移により通期業績予想を上方修正した「サイボウズ」や、生成AI（人工知能）向け先端半導体の需要拡大の恩恵を受けると期待された「ユニオンツール」等が上昇しました。6月末時点の投資先数は、新規組入をおこなわなかった一方で、投資先企業4社の保有株式の全売却をおこなったことにより前月末から4社減少し、72社となりました。詳細は後述の「保有株式の全売却について」をご覧ください。6月末時点の株式組入比率は、投資先企業の株価上昇に加え、株式組入比率の引上げを目的として投資先企業の株式を幅広く買い増したことにより前月末から上昇し、77.2%となりました。債券組入比率は、IKEUCHI ORGANIC社の社債が満期償還を迎えることにあわせて同額の新発債を引き受けましたが、株価上昇による純資産総額の増加にともない前月末から若干低下し、2.0%となりました。

保有株式の全売却について

「結い 2101」では、本業を通じて本気で社会をよくしようと努力する「いい会社」に投資し、「いい会社」が「いい会社」である限り、全売却を前提としない運用方針のもと、投資先企業の発展成長を応援することで、受益者の皆様の資産形成と社会の持続的発展の両立を目指しています。運用チームでは投資先の「いい会社」を「社会価値」「個性価値」「持続的価値」の3つの価値基準に沿って、「いい会社」の状態を維持・向上させているか、絶え間なくフォローアップしています。また、経営において課題や懸念があると考えられる投資先については、その課題等を共有し、改善に向けた働きかけをおこなってきました。しかしながら、この度、「島精機製作所」、「リブセンス」、「ほぼ日」、「MS&Consulting」の4社については、継続的に投資先の取り組みを観たり、対話を重ねる過程において、当社の着眼点に照らした「いい会社」として保有を継続することが難しいと判断し、保有株式の全売却を決断しましたのでお知らせします。

【島精機製作所「匠」】

島精機製作所については、主力製品であるコンピュータ横編機や、独自開発した「一着丸ごと縫い目がないニット」をつくるホールガジェット® 横編機の製造、販売を通じて、ニット業界の発展に貢献する「いい会社」として、2018年10月に「匠」の視点で投資を開始しました。しかし、2020年頃を境にファストファッションに代表される大量生産・大量消費のビジネスモデルによる環境への影響が問題視されたことなどを受け、アパレル業界に構造変化が生じました。具体的には、島精機製作所の顧客である縫製工場は、サプライチェーン全般の見直しなどによってコストが膨らみ投資余力が低下しました。それを受けて同社の業績も低迷を続け、2020年3月期から2025年3月期までの6会計期間中5期間で最終損失となり、成長に向けた投資が制約されることとなりました。この間、約60%のグローバルシェアを誇っていた同社のコンピュータ横編機は中国競合メーカーの価格攻勢を受け、大きくシェアを失いました。このような、アパレル業界の構造変化への対応の遅れや、顧客ニーズにマッチした製品開発が進まず、市場でのシェアが低下していることの要因は、同社の変革力の弱さ、その結果として「匠」としての価値を低下させたことにあると判断しました。それに加えて、「匠」の価値の低下は、同社の持続的価値に少なからず影響を与えることなどを勘案し、全売却することとしました。

【リブセンス「人」】

リブセンスについては、「顧客や社会の幸せを追求することが、結果として自社の幸せにもつながる」という経営者および社員一人ひとりの利他の精神が社会課題の解決につながるビジネスを生み出しているという点を評価し、2014年5月に「人」の視点で投資を開始しました。アルバイト等の求人情報サービスにおいては、求人情報を掲載した時点で費用が発生する掲載課金型のサービスが一般的でした。これに対し、リブセンスは求人情報を掲載した時点では費用は発生せず、実際に採用が決まったという「成果」が得られて初めて費用が発生する成功報酬型のサービスを提供しました。これにより、求人・採用を検討する企業にとって、最適なコストで自社に合った人材採用を実現することに貢献してきました。しかしながら、他の求人情報サービスを運営する会社においても成功報酬型サービスを導入し、一般化していったことで、成功報酬型サービスのバイオニアとしての同社の競争力が失われていきました。そうした中で、同社は、新たな事業領域として、求人領域にとどまらず、不動産などの領域でも課題解決型のサービスを提供してきました。鎌倉投信としては、同社の経営理念や新たな事業への挑戦に一定の評価はしつつも、現在までのところ新サービスの利用者は限られており、影響力をもって社会課題を解決しているとはいえない状況にあると判断し、全売却することとしました。

【ほぼ日「人」】

ほぼ日は、「ほぼ日手帳」に代表される特徴のある商品やコンテンツを通じて、利用者の創造性を刺激し、広い意味での幸福感や満足感を提供してきました。これらコンテンツ製作を支えているのが、想像力を働かせ、自ら行動する社員であり、社員が活き活きと働く会社であることを評価し、2017年3月に「人」の視点で投資を開始しました。同社の「モチベーション高く活躍する人財」に対する評価に変わりはありませんが、投資開始以降の事業展開や業績推移をフォローアップしてきたなかで、収益面では、「ほぼ日手帳」に依存する状態が継続しています。「ほぼ日手帳」は、とても使いやすい、根強いファンを持つ中核商品ですが、その一方で、新たな商品やコンテンツを社会に広めていくための経営資源が限られ、将来に渡って提供価値の拡大を見通すことは難しい状況にあります。このような背景から、同社の世の中に対する価値提供は限定されたものに留まると判断し、全売却を決断しました。

【MS & Consulting「人」】

MS & Consulting は、外食、小売業種向けを中心に、覆面調査員による店舗やサービス等の調査や、従業員満足度調査、経営コンサルティングをおこなっています。「社員第一主義」を掲げ、社員が個性を発揮し、誇りをもって仕事ができる環境を提供するなど、人財を大切にしていることを評価し、2017年12月に「人」の視点で投資を開始しました。実際に、社員の定着率が高く、同社の従業員満足度調査において高水準の満足度を維持していることが、顧客の満足度向上にもつながっていると考えます。しかしながら、主力のMSR(覆面調査)事業が永らく低迷していることや、コロナ禍を機に補助金や助成金に関連したコンサルティング事業を拡大していることを考慮すると、投資開始時に社会価値として評価していた、同社のサービスを通じた消費者の満足度の向上により、「豊かな心の輪を日本全国に広げる」ことからの乖離が生じていると判断し、全売却することとしました。

今般の全売却は、これまで築いてきた投資先企業との関係性を考慮すると、心苦しい決断となりましたが、鎌倉投信の投資哲学や「結い2101」の運用基本理念にふれることなく忠実に対応したものです。また、コロナ禍という環境変化により、投資先企業の対応力や胆力など真の力を垣間みてきたことが、投資判断のうえで有益な材料となりました。コロナ明けから、課題があると考えた投資先との面談頻度を引上げ、確信を得るまでに時間を要したこと、また、売却を決定した後、株価に影響を与えない範囲で売却を進めた結果、売却完了時期が重なったことについてはご理解いただきたいと思います。この度、4社の保有株式を売却することになりましたが、これからも対話を継続し、再度「いい会社」として判断するに至った際には、あらためて投資を検討していく考えです。最後に、鎌倉投信は、「結い2101」の運用開始から15年の間、「いい会社」とは何か、そうした会社が持つ要素は何か」を問い続けてきました。これからも、「いい会社」を観る目を磨き、対話の力を高め、「結い2101」をより魅力的な投資信託にしていきます。大変地道な取り組みですが、このことに日々全力を尽くしていきます。



五十嵐 和人 資産運用部長
国内銀行、外資系生命保険会社、日系運用会社を通じ、日本株のファンドマネージャーとして20年以上資産運用業務に携わる。
2020年4月に鎌倉投信に入社。山形生まれ、山形育ち。

ラジオ/Podcast番組

Finding the GOOD

ゲストのご紹介(オイシックス・ラ・大地 東海林様/ツムラ 林様)

2024年4月からはじまったこの番組は、今年度より「結い2101」の投資先の企業をご紹介する機会をこれまで以上に増やしていくことになりました。受益者の皆様に、どの様な会社に投資をしているのか、その取り組みや想いをもっと身近に感じていただけるようお届けしていきます。

6月のゲスト



オイシックス・ラ・大地株式会社
経営企画本部 グリーン戦略室 室長
東海林園子様

オイシックス・ラ・大地の成り立ちや、3つのブランド(Oisix・らでいっしょぼーや・大地を守る会)の特徴についてお話を伺いました。鎌倉投信が評価している、スピード感ある意思決定をはじめとした、同社の企業風土についても具体的なエピソードとともにお話いただいています。また、東海林様が担当されているフードロス削減に向けた取り組みの一環として、アップサイクル商品の開発についてもご紹介いただきました。通常であれば廃棄されてしまう食材に新たな価値を見出し、美味しさとして届ける・そんな挑戦に込められた想いや、商品開発の裏側にも迫ります。食の未来をつくる同社の取り組みから、多くの気づきを得られるエピソードとなっていますので、ぜひお聴きください。

ラジオ/Podcast番組[Finding the GOOD]は、“いい”に逢いにいくをコンセプトに、マンスリーゲストが選んだ、心地の“いい”場所・もの・人に実際に逢いにいき、次世代へと伝えたいものごとの「よさ」を探究していくゲストトーク番組です。

7月のゲスト

株式会社ツムラ経営統括本部
コーポレート・コミュニケーション部 IR推進課 林 美香様

漢方でお馴染みのツムラで働く林様にお話を伺います。ツムラの歴史や強み、また「漢方愛」の深い林様だからこそ語れる、漢方の魅力についても伺います。Podcast では、7/7(月)より一回目の配信がはじまりますので、ぜひお聴きください。

Podcast

毎週月曜 午後5時配信
いつでもどこでも番組を聞くことができます。ラジオを生活の一部に。



フォローを
お願いします！

「結い 2101」運用状況（月次） 基準日：2025年6月末日

運用方針

概況

「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用をおこなうことを基本とします。

これからの日本に必要とされる企業

顧客・消費者、社員とその家族、取引先、
地域・自然・環境、株主等を大切に、
持続的で豊かな社会を醸成できる企業

このような企業を投資先の「いい会社」として選定するため、
次のように「人・共生・匠」というテーマで評価しています。

基準価額

21,432円

純資産総額

46,120百万円

顧客数

22,338人

うち「積立購入」を

選択されている

顧客数11,114人

人

優れた企業文化を持ち、
人財を活かす企業

共生

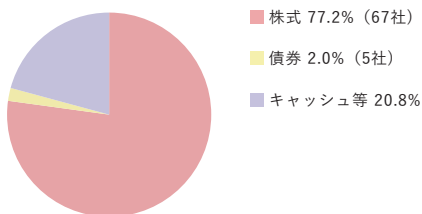
循環型社会を創る企業

匠

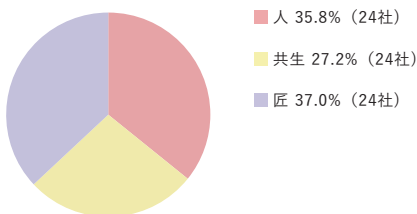
日本の匠な技術、
感動的なサービスを提供する企業

信託財産の状況（比率は時価ベース）

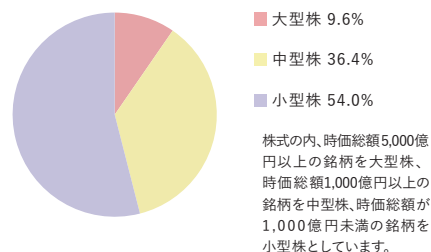
ポートフォリオの資産構成比



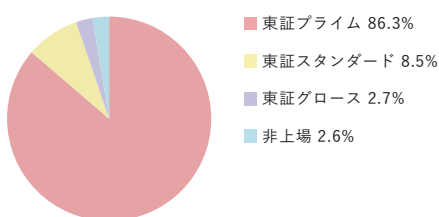
投資先のテーマ別構成比



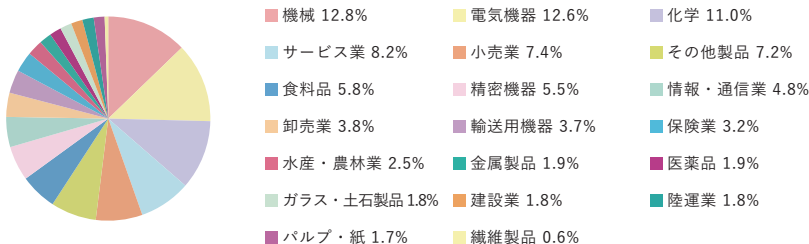
株式の規模別構成比



有価証券の市場別構成比



投資先の業種別構成比



開示基準に達した新規投資銘柄の開示（2025年6月末日時点） 現在、未開示の投資先はありません。

組入上位10銘柄

コード	会社名	テーマ	純資産総額比	鎌倉投資の視点
4776	サイボウズ	人	1.7%	多様な働き方を認め、公明正大で個人が自立した組織を目指す、いい会社
7447	ナガイレーベン	共生	1.6%	医療従事者・地域とともに歩む、いい会社
6965	浜松ホトニクス	匠	1.6%	人類がまだ誰も挑んだことのない領域へ挑戦する、いい会社
6856	堀場製作所	匠	1.5%	「はかる」を軸に技術発展を支える、いい会社
4186	東京応化工業	匠	1.5%	すり合わせの妙で先端技術を支える、いい会社
6823	リオン	匠	1.5%	聴こえの自由な人へ音を届ける、いい会社
3182	オイシックス・ラ・大地	共生	1.5%	安心・安全な食品を提供する、いい会社
6432	竹内製作所	匠	1.5%	世界のニーズを具現化する、いい会社
6005	三浦工業	共生	1.5%	熱・水・環境の分野で産業活動を支える、いい会社
3097	物語コーポレーション	人	1.5%	自分物語をつむぎ、世の中をイキイキさせる、いい会社



投資先の「いい会社」

人

共生

匠

各「いい会社」への投資理由等は、鎌倉投資のホームページで紹介しています。『鎌倉投資 いい会社』で検索！是非ご覧ください♪



等金額投資をしているため基本的に投資先の構成比は同一ですが、時価変動等により基準構成比を大きく上回っていないかを確認するための参考として組入上位10銘柄を表示しています。

運用目標

リターン目標（信託報酬控除後）

長期的に投資先企業の業績成長に見合った
リターンの獲得を目指す

参考情報

投資先企業の業績成長率
年率 4.5% ～ 6.7%

リスク目標

国内株式市場よりも基準価額の変動リスクを
抑制し、下落時の不安を軽減する運用を目指す

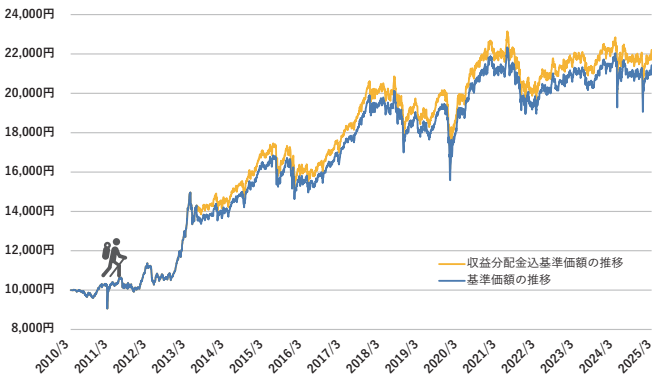
✓運用目標は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。
✓2010年3月29日から2025年4月30日までは、リターン（信託報酬控除後）4%以上・リスク10%以内を目標としていました。
✓「投資先企業の業績成長率」とは、投資先の上場企業全体のファンド保有分に対する会計上の純資産および配当の合計額の1年間の増加率（増資は除く）の過去5年月次移動平均のうち、過去5年間ににおける最大値及び最小値から信託報酬率を考慮してそのレンジを示しています。

運用パフォーマンス

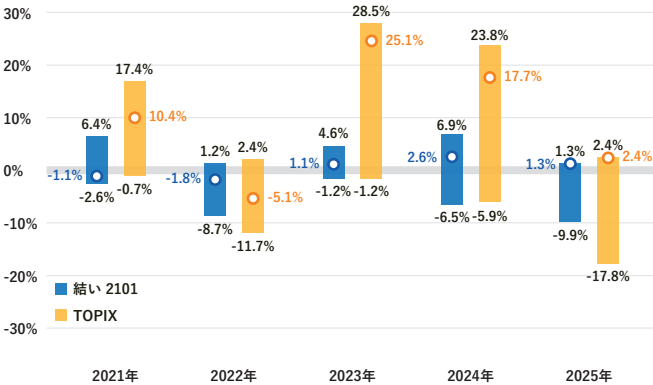
運用成績 ※1

	設定来	10年	5年	3年	1年	1ヵ月
リターン（累積）	122.1%	29.6%	11.5%	9.8%	-1.6%	1.8%
リターン（年率）	5.4%	2.6%	2.2%	3.2%		
リスク（年率）	8.3%	8.1%	6.8%	5.4%		
リターン÷リスク	0.64	0.32	0.32	0.59		

基準価額の推移 ※2



各年の収益率 ※3



収益分配金の実績 ※4

収益分配金とは、ファンド決算の際に、運用を通じて得た収益の一部をお客様に分配するものです。分配をおこなった場合は、決算日の基準価額が1万口あたり分配金額だけ下がります。「結い 2101」は自動的に分配金相当額を分配後の基準価額で再投資する仕組み（分配再投資専用）になっています。

第4期	2013年7月19日	500 円
第13期	2022年7月19日	0 円
第14期	2023年7月19日	0 円
第15期	2024年7月19日	0 円

設定来合計 500 円

設定日：2010年3月29日	信託期間：無期限	決算日：毎年7月19日（休業日の場合は翌営業日）
----------------	----------	--------------------------

※1 運用成績について

- ✓リターン・リスクは、支払済み収益分配金（税引前）を再投資した場合の分配金込の数値です。実際の個別のお客様の収益率とは異なります。
- ✓リターン（年率）とは、直近3年間、5年間または10年間および設定来の収益分配金込基準価額の騰落率を年率換算で表示したものです。
- ✓リスク（年率）とは、直近3年間、5年間または10年間および設定来の収益分配金込基準価額の月次騰落率の1標準偏差を年率換算で表示したものです。
- ✓「リターン÷リスク」は、運用の効率性を測る指標として表示しています。

※2 基準価額の推移について

- ✓「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い 2101」の信託報酬率1.10%（年率・税込）を控除後のものです。
- ✓「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- ✓「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった（＝収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した）ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社が算出しています。

※3 各年の収益率について

- ✓「結い 2101」はTOPIX等をベンチマークとした運用ではありませんが、国内株式市場との連動性の程度を確認するため、参考としてTOPIX指数の収益率を掲載しています。
- ✓青色の棒グラフは、各年内の基準価額の最大値（年初来高値、日次ベース）、最小値（年初来安値、日次ベース）、および各年末の基準価額を、各前年末の基準価額と比較した場合の収益率を表しています。
- ✓黄色の棒グラフは、各年内のTOPIXの最大値（年初来高値、日次ベース）、最小値（年初来安値、日次ベース）、および各年末のTOPIXを、各前年末のTOPIXと比較した場合の収益率を表しています。

※4 収益分配金の実績について

- ✓分配金額は1万口あたりの金額です。
- ✓分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。

「結い 2101」受益者総会®のご案内

今年のテーマ

2025年9月27日(土)に開催する「結い 2101」受益者総会®では、
「**継往開来の道 ～まごころが結んだ信頼の絆、“いい会社”と紡ぐ未来～**」をテーマに、
投資先の経営者による講演やトークセッションを予定しています。
テーマの「継往開来(けいおうかいらい)」とは、
“過去のをを継続し、それを発展させながら将来を開拓していく”という意味の四字熟語です。
「結い 2101」の運用開始から15年経ってもなお変わらない投資哲学のもと、より魅力的な
投資信託に磨いていく、今の鎌倉投信を表現できる言葉を大きなテーマにおきました。
また、サブテーマには、投資哲学の「投資はまごころであり 金融とはまごころの循環である」に
共感いただいた受益者の皆様と投資先の「いい会社」によって創られる未来を想像する場に
したいとの想いを込めました。

受益者総会は、**受益者とそのご家族が参加できるイベント**です。
ご夫婦・パートナー、お子様やお孫様、ご親戚の方など、ぜひ一緒にお越しください。



(写真：企業展示/運営に協力いただいた親子へのインタビュー)

開 催 日：2025年9月27日(土)
時 間：10:30～16:30※入退場自由
対 象：「結い 2101」の受益者とそのご家族様
参加方法：会場参加のみ(オンラインでのライブ配信はおこないません)

定 員：700名(先着順で申込受付)
会 場：横浜港大さん橋ホール
ア ク セ ス：みなとみらい線「日本大通り駅」下車 徒歩7分
申込開始時期：8月上旬(次月発行の結いだよりでご案内します)

お知らせ 7/1から楽天証券で「結い 2101」の取り扱いが始まりました。

本件について、6月26日に当社HPへ「お知らせ」を掲載しました。「お知らせ」では社長の鎌田から受益者の皆様へ、「直販」への想いの原点や
楽天証券での取り扱いを始める理由、鎌倉投信のこれからの挑戦について、お伝えしています。まだお読みでない方は是非ご覧ください。



直販口座「積立サービス」取引スケジュール

金額変更・中止締切日※1	引落日※2	入金日※3	約定日※4	受渡日※5
7月10日	7月28日	8月4日	8月5日	8月6日

※1 毎月10日(休日の場合は前営業日)：この日に受付した分までが当月引落より適用されます。締切日を過ぎますと、当月の引落および引落資金での投資信託購入がおこなわれます。解約(換金)を希望される方は、受渡日以後に残高の解約(換金)をしてください。

※2 毎月27日(休日の場合は翌営業日)：お客様が指定した金融機関の口座から購入額を引き落とします。

※3 引落日の5営業日後：収納代行会社を通して購入額が当社に入金されます。

※4 引落日の6営業日後：この日の基準価格で購入します。

※5 引落日の7営業日後：この日に取引報告書を交付します。

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供を目的としたもので、投資信託販売用資料ではありません。

＜資産運用に関する注意事項＞投資信託のお申し込みに際しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

- ◆投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。また、「結い 2101」を証券会社を通じて購入していない場合は、投資者保護基金の保護対象でもありません。
- ◆投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ◆「結い2101」は主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当投資信託の基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て「結い2101」の投資者(受益者)の皆さまに帰属します。したがって、投資者(受益者)の皆さまの投資された元本は基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ◆「結い2101」は信託財産留保額はありません。運用管理費用(信託報酬)は、純資産総額に対して1.1%(税込・年)です。購入時手数料やその他費用の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をお読みください。
- ◆本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ◆本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ◆また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料の利用権は、鎌倉投信に帰属します。
- ◆「結い 2101」のご購入は、投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご理解いただいた上、ご自身でご判断ください。ご不明な点は販売会社にお問い合わせください。

＜苦情処理措置および紛争解決措置について＞

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(連絡先：0120-64-5005)を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社：金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第2293号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会